

2012年度 公益財団法人日本音楽教育文化振興会 事業報告 (2012年4月1日から2013年3月31日迄)

2012年度の事業としましては、公益事業1「ホール・マネジメント人材養成」のテキスト作成についての著作権問題による事業撤退、公益事業2「第1回アーティスト発掘オーディション」の企画変更による廃止、公益事業3「アジア国際交流音楽祭」においては、計画・立案から進捗がない状況による事業撤退等、事業の撤退や廃止が相次ぎました。本財団運営について担当理事の委員会制度の推進にあたり万全を期し、共通認識のもと公益性のある各事業の発展と推進に邁進して参ります。

以下のように各事業の進捗状況を報告します。

公益事業1 音楽に関する学習機会を提供する事業

名 称：「社会人のための音楽通信教育」

担当理事：赤松憲樹

内 容：1948年（昭和23年）東京音楽学校同窓会が母体となり、文部科学省認定音楽分野唯一の「社会人のための音楽通信教育」を50年に渡り実施しており、今後も継続して民間音楽教育の普及・向上の推進を図る。

運 営：赤松憲樹（本公益財団法人）により運営。

報 告：現在音楽界ならびに音楽教育界、音楽娯楽の傾向を調査し、文部科学省の生涯学習局の指導のもと、講座の一つ「作曲法」を「たのしい作曲」と改訂版の作成を、日本現代音楽協会事務局長である作曲家の松尾祐孝氏に依頼し先般完了。現在文部科学省へ申請中。

名 称：「ホール・マネジメント人材養成」

担当理事：善積俊夫（社団法人日本クラシック音楽事業協会常務理事）

内 容：わが国の音楽文化活動の活性化を目指す時、現在全国40数校の大学・専門学校での音楽マネジメント学科が存立しており、世界的にも音楽文化活動の調査・研究の対象として重要視されている。そこで音楽分野の今後の発展を期するため、音楽文化コーディネーターの養成の一環として2012年度から3年計画での「ホール・マネジメント人材養成」をテーマとし、システム・テキスト作成の運営委員会により事業化を目指し、人材養成を行う。

運 営：①クラシック・コンサート制作の基礎知識②初版発行：2013年1月1日予定③企画制作：公益財団法人日本音楽教育文化振興会・社団法人日本クラシック音楽事業協会④制作委員：赤松憲樹（公益財団法人日本音楽教育文化振興会理事長）・下八川共祐（学校法人東成学園理事長）・善積俊夫（社団法人日本クラシック音楽事業協会常務理事）⑤監修：石田麻子⑥編集：菅義夫⑦編集協力：近藤憲一⑧制作装丁：木查舎⑨発行人：谷口恵治⑩発行所：株式会社ヤマハミュージックメディア⑪印刷製本：株式会社シナノ

報 告：著作権等の諸問題により本事業から撤退した。

公益事業2 音楽に関する発表機会を提供する事業

- 名 称：「第29回日本管打楽器コンクール」(開催)
担当理事：石渡悠史（日本サクソフーン協会会長）
- 目 的：このコンクールは、公益財団法人日本音楽教育文化振興会が主催する事業の一つで、生涯学習を通じての個人並びに社会に役立つ視野に立ち、管楽器及び打楽器の各分野から有能なソリストの発掘、優秀な人材の育成、及びこのジャンルの啓発を目的とする。本年度より、各部門の1位受賞者に、文部科学大臣賞、東京都知事賞を授与、大賞演奏会に内閣総理大臣賞を授与する。
- 内 容：実施部門 フルート・ホルン・トロンボーン・ユーフォニアム
- フルート部門（参加数：240名）
 - 会 場 昭和音楽大学（神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-1）
 - 第一次予選 8月19日（日）～21日（火）
 - 第二次予選 8月22日（水）
 - 本 選 8月25日（土）
 - ホルン部門（参加数：160名）
 - 会 場 東邦音楽大学（東京都文京区大塚4-46-9）
 - 第一次予選 8月20日（月）、21日（火）
 - 第二次予選 8月23日（木）
 - 本 選 8月25日（土）
 - トロンボーン部門（参加数：245名）
 - 会 場 洗足学園音楽大学（神奈川県川崎市高津区久本2-3-1）
 - 第一次予選 8月20日（月）～22日（水）
 - 第二次予選 8月23日（木）
 - 本 選 8月25日（土）
 - ユーフォニアム部門（参加数：135名）
 - 会 場 国立音楽大学（東京都立川市柏町5-5-1）
 - 第一次予選 8月22日（水）、23日（木）
 - 第二次予選 8月24日（金）
 - 本 選 8月25日（土）
 - 表彰式及び大賞演奏会 8月30日（木）17:00 開演
 - 会 場 文京シビックホール 大ホール（東京都文京区春日1-16-21）
 - 共 演 東京ニューシティ管弦楽団
 - 指 揮 渡邊 一正
- 運 営：運営委員会
- 運営委員長 尾高 忠明（NHK交響楽団正指揮者）
 - 運営副委員長 吉成 行藏（本公益財団評議員）
 - 運営副委員長 善積 俊夫（元本公益財団理事）
 - 運営副委員長 支倉 二二男（日本オーケストラ連盟常務理事）

運営実行委員長 石渡 悠史 (本公益財団理事)

フルート部門審査委員長 青木 明

ホルン部門審査委員長 山岸 博

トロンボーン部門審査委員長 井上 順平

ユーフォニアム部門審査委員長 三浦 徹

後 援：内閣府、文部科学省、外務省、東京都、文京区、文京区教育委員会、立川市、立川市教育委員会、川崎市、川崎市教育委員会、「音楽のまち・かわさき」推進協議会、朝日新聞社、一般社団法人日本音楽著作権協会、社団法人日本クラシック音楽事業協会、公益社団法人日本演奏連盟、公益社団法人日本オーケストラ連盟、社団法人全日本吹奏楽連盟、東京都吹奏楽連盟、神奈川県吹奏楽連盟、アメリカ合衆国大使館、ドイツ連邦共和国大使館、イタリア大使館、タイ王国大使館、中華人民共和国大使館文化部、駐日韓国大使館 韓国文化院

特別協力大学：昭和音楽大学、東邦音楽大学、洗足学園音楽大学、国立音楽大学

協 力：日本フルート協会、日本ホルン協会、日本トロンボーン協会、
日本ユーフォニアム・テューバ協会

協 賛：(日本) 京都市立芸術大学、愛知県立芸術大学、沖縄県立芸術大学、東京音楽大学、武蔵野音楽大学、尚美学園大学、桐朋学園大学音楽学部、日本大学芸術学部音楽学科、上野学園大学、札幌大谷大学芸術学部音楽学科、名古屋芸術大学、名古屋音楽大学、相愛大学音楽学部、エリザベト音楽大学、くらしき作陽大学音楽学部、平成音楽大学

(中国) 中央音楽学院、瀋陽音楽学院、陝西師範大学音楽学院、広州音楽学院、南昌大学芸術学院、大連大学音楽学院、中国管楽器学会、香港管楽協会、中国フルート学会、中国ホルン学会

(韓国) 延世大学校 音楽大学、梨花女子大学校 音楽大学、慶熙大学校 音楽大学
檀国大学校 音楽大学、國民大學校 音楽大學、又石大学校 音楽大学

(協賛専門校) 国立音楽院

(協賛寄附・協賛広告団体一覧)

上野学園大学、エリザベト音楽大学、くらしき作陽大学音楽学部、桐朋学園大学音楽学部、札幌大谷大学芸術学部音楽学科、尚美学園大学、尚美ミュージックカレッジ専門学校、日本大学芸術学部音楽学科、東京音楽大学、名古屋音楽大学、武蔵野音楽大学、浅間商事株式会社上野支店、岩井建設株式会社、大坪電気株式会社、株式会社エムアイセブンジャパン、株式会社共立メンテナンス、株式会社グローバル、株式会社三響フルート製作所、株式会社図書出版、株式会社ドルチェ楽器、株式会社友ミュージック、株式会社フォトライフ、株式会社フォルテシモ、株式会社プリマ楽器、株式会社ビュッフェ・グループ・ジャパン、株式会社リブラ、国立音楽院、総合警備保障株式会社城東支社、東京都民銀行春日町支店、ナクソス・ジャパン株式会社、日東金網株式会社、野中貿易株式会社、村松楽器販売株式会社、パール楽器製造株式会社、メットライフアリコ生命保険株式会社、ヤマハ株式会社、ヤマハサウンドシステム株式会社 (順不同)

報 告：本選審査結果（入賞者）

フルート部門

- 第1位 松木 さや (東京藝術大学在学)
- 第2位 押部 朋子 (桐朋オーケストラアカデミー在学)
- 第3位 多久和 怜子 (桐朋学園大学研究科在学)
- 入 選 八木 瑛子 (東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校在学)
- 入 選 知久 翔 (パリ国立高等音楽院在学)

ホルン部門

- 第1位 HONG PARK KIM (Royal Swedish Opera)
- 第2位 根本 めぐみ (東京藝術大学卒業)
- 第3位 小川 敦 (東京ミュージック&メディアアーツ尚美卒業)
- 入 選 濱地 宗 (群馬交響楽団)
- 入 選 田島 花林 (東京藝術大学在学)

トロンボーン部門

- 第1位 東川 暁洋 (東京藝術大学卒業)
- 第2位 星野 舞子 (常葉学園短期大学音楽科勤務)
- 第3位 菅原 薫 (東京藝術大学管弦楽研究部所属)
- 入 選 上田 智美 (東京藝術大学卒業)
- 入 選 今村 岳志 (東京藝術大学卒業)

ユーフォニアム部門

- 第1位 該当無し
- 第2位 小久保 まい (洗足学園音楽大学・常葉学園短期大学講師)
- 第3位 武藤 卓 (フランス国立ペルピニャン地方音楽院在学)
- 入 選 高橋 美奈子 (東京ミュージック&メディアアーツ尚美卒業)
- 入 選 岩満 貴大 (国立音楽大学在学)
- 入 選 齋藤 由美子 (国立音楽大学卒業)

第1位入賞者：【文部科学大臣賞・東京都知事賞】

- フルート部門 松木 さや (まつき さや) 東京藝術大学在学
- ホルン部門 HONG PARK KIM (キムフォンパーク) Royal Swedish Opera
- トロンボーン部門 東川 暁洋 (ひがしかわ あきひろ) 東京藝術大学卒業

特別大賞：【内閣総理大臣賞】

- ホルン部門 HONG PARK KIM (キムフォンパーク) Royal Swedish Opera

別賞：【東京ニューシティ管弦楽団 定期演奏会 特別出演賞】

- フルート部門 松木 さや (まつき さや) 東京藝術大学在学

報 告：第30回より本財団ホームページにてWeb参加申し込みの制作に入り、ホームページ制作業者との打ち合わせを重ね、Web参加申し込みが完成した。

名 称：「第18回日本管楽合奏コンテスト」(開催)

担当理事：石田修一(柏市教育委員会学校教育部参事)

- 目的: 管打楽器および吹奏楽に関する研究・調査・啓発を行なうとともに音楽文化の向上を図り、学校教育、生涯学習における我国の管打楽器および吹奏楽の充実・発展に寄与することを目的とする。その一環として「日本管楽合奏コンテスト」を開催する。本年度は 18 回目の開催となり、昨年度より 5 部門のすべてに文部科学大臣賞を授与することになった。
- 内容: ①「独自のサウンド」を求める②管打楽器合奏、アンサンブル、吹奏楽、同属楽器アンサンブル（クワイアー等）、声楽、電子楽器、弦楽器との多様な編成について考える。③時代様式、演奏様式、個人様式などの追求・研究を行う。④全国大会においては、視覚的演出表現等の研究を行う。
- 運営: 予選審査会
 2012 年 9 月 29 日（土）・30 日（日）＜非公開＞
 全国大会
 2012 年 11 月 3 日（土）高等学校 B 部門、4 日（日）中学校 B 部門
 2012 年 11 月 10 日（土）中学校・高等学校 A 部門、11 日（日）小学校部門
- 会場: 予選／尚美学園、全国／文京シビックホール 大ホール
- 主催: 公益財団法人日本音楽教育文化振興会
- 共催: 公益財団法人文京アカデミー・一般社団法人日本管打・吹奏楽学会
- 後援: 内閣府・文部科学省・東京都・文京区教育委員会・社団法人全日本吹奏楽連盟
- 協賛: あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、株式会社こおろぎ社、株式会社鴻池組、株式会社東京ハッスルコピー、株式会社友ミュージック、株式会社フォトライフ、国立音楽院、尚美ミュージックカレッジ専門学校、ブレーン株式会社、ヤマハミュージックトレーディング株式会社、ヤマハ株式会社、ローランド株式会社
- 運営: 運営委員会は運営委員長の石田修一氏（本公益財団理事）を中心とし、小澤俊朗氏（本公益財団理事）の協力のもと、2012 年 9 月 29 日、30 日に予選審査が行われた。5 部門のうち、小学校部門 31 校、中学校 A 部門 18 校、中学校 B 部門 32 校、高等学校 A 部門 16 校、高等学校 B 部門 31 校を選出した。
- 報告: 第 18 回日本管楽合奏コンテスト入賞校:
- 高等学校 B 部門
- 文部科学大臣賞・最優秀グランプリ賞
 千葉県立幕張総合高等学校
- 最優秀賞
 浜松海の星高等学校 秋田県立新屋高等学校 作新学院高等学校 東海大学附属高輪台高等学校 春日部共栄高等学校 東京都立片倉高等学校 東京都立杉並高等学校 千葉県立幕張総合高等学校 千葉県立千葉商業高等学校 習志野市立習志野高等学校
- 審査員特別賞
 神奈川県立厚木高等学校
- ブレーン賞
 東京都立片倉高等学校
- YAMAHA 賞
 東京都立墨田川高等学校

中学校B部門

文部科学大臣賞・最優秀グランプリ賞

柏市立酒井根中学校

最優秀賞

西宮市立今津中学校 川口市立芝東中学校 松戸市立和名ヶ谷中学校 芦屋市立山手中学校

松戸市立第一中学校 名古屋市立北中学校 名古屋市立汐路中学校 日進市立日進中学校

柏市立酒井根中学校 羽村市立羽村第一中学校 横浜市立富岡中学校

審査員特別賞

日光市立今市中学校

ブレーン賞

川口市立芝東中学校

YAMAHA賞

西宮市立今津中学校

中学校A部門

文部科学大臣賞・最優秀グランプリ賞

川崎市立玉川中学校

最優秀賞

大田市立第三中学校 川崎市立玉川中学校 柏市立大津ヶ丘中学校 青梅市立第三中学校

南相馬市立原町第一中学校 古河市立総和中学校

審査員特別賞

平塚市立春日野中学校

バンドジャーナル賞

八千代市立東中学校

ブレーン賞

大田市立第三中学校

YAMAHA賞

柏市立大津ヶ丘中学校

高等学校A部門

文部科学大臣賞・最優秀グランプリ賞

柏市立柏高等学校

最優秀賞

神奈川県立弥栄高等学校 関西創価高等学校 三重県立神戸高等学校 柏市立柏高等学校

審査員特別賞

古川学園高等学校

バンドジャーナル賞

静岡県立遠江総合高等学校

ブレーン賞

狭山ヶ丘高等学校

YAMAHA賞

- 水戸女子高等学校
 小学校部門
文部科学大臣賞・最優秀グランプリ賞
 柏市立酒井根西小学校
最優秀賞
 王寺町立王寺小学校・王寺町立王寺北小学校 函館市立日吉が丘小学校 水戸市立三の丸小学校
 柏市立光ヶ丘小学校 関西創価小学校 柏市立酒井根西小学校 仙台市立向陽台小学校
 我孫子市立新木小学校 軽井沢町立軽井沢中部小学校 合志市立西合志東小学校
審査員特別賞
 甲斐市立竜王北小学校
ブレーン賞
 合志市立西合志東小学校
YAMAHA賞
 防府市立新田小学校

- 名 称：「第15回日本ジュニア管打楽器コンクール」(開催)
 担当理事：石渡悠史（日本サクソフーン協会会長）
- 目 的：全国小学校・中学校・高等学校の教育現場における管打楽器教育のあり方と、管打楽器愛好者の優秀な人材の発掘や育成及び、啓発と普及を目的とする。文部科学大臣賞授与。全国の小学校・中学校・高等学校よりCD-R及びMDで募集し、その予選審査で本選考会出場者を決定する。今回15回の開催となる。
- 内 容：ソロ部門：
 コース／小学生コース・中学生コース・高校生コース
 実施楽器／フルート・クラリネット・オーボエ・ファゴット・サクソフーン・トランペット・トロンボーン・ホルン・ユーフォニアム・テューバ・パーカッション・マリンバ（計12楽器）
- アンサンブル部門：
 コース／小学生コース・中学生コース・高校生コース
 編 成／木管の部・金管の部・打楽器の部
 演奏曲目／各部門の予選・本選考会とも規定分数以内の任意の楽曲とする。
 受付期間／2013年1月7日（月）～2月7日（木）まで
 予選考会／2013年2月16日（土）、17日（日）＜非公開＞
 本選考会／ソロ部門
 2013年3月26日（火）フルート・ホルン・トランペット
 2013年3月27日（水）サクソフーン・ファゴット・トロンボーン
 2013年3月28日（木）クラリネット・オーボエ・テューバ
 2013年3月29日（金）マリンバ・パーカッション・ユーフォニアム
 アンサンブル部門
 2013年3月30日（土）木管の部・金管の部・打楽器の部

会場：バリオホール（東京都文京区本郷4-15-9）

後援：文部科学省、東京都、文京区教育委員会、一般社団法人日本管打・吹奏楽学会、朝日新聞社、社団法人全日本吹奏楽連盟、北海道吹奏楽連盟、北海道函館地区吹奏楽連盟、北海道札幌地区吹奏楽連盟、北海道旭川地区吹奏楽連盟、北海道北見地区吹奏楽連盟、北海道帯広地区吹奏楽連盟、北海道留萌地区吹奏楽連盟、岩手県吹奏楽連盟、秋田県吹奏楽連盟、東関東吹奏楽連盟、栃木県吹奏楽連盟、茨城県吹奏楽連盟、千葉県吹奏楽連盟、神奈川県吹奏楽連盟、西関東吹奏楽連盟、群馬県吹奏楽連盟、山梨県吹奏楽連盟、埼玉県吹奏楽連盟、東京都吹奏楽連盟、東京都小学校吹奏楽連盟、東京都中学校吹奏楽連盟、東京都高等学校吹奏楽連盟、北陸吹奏楽連盟、福井県吹奏楽連盟、石川県吹奏楽連盟、富山県吹奏楽連盟、関西吹奏楽連盟、大阪府吹奏楽連盟、京都府吹奏楽連盟、兵庫県吹奏楽連盟、滋賀県吹奏楽連盟、奈良県吹奏楽連盟、和歌山県吹奏楽連盟、広島県吹奏楽連盟、鳥取県吹奏楽連盟、島根県吹奏楽連盟、香川県吹奏楽連盟、高知県吹奏楽連盟、愛媛県吹奏楽連盟、徳島県吹奏楽連盟、九州吹奏楽連盟、北九州吹奏楽連盟、福岡県吹奏楽連盟、佐賀県吹奏楽連盟、長崎県吹奏楽連盟、熊本県吹奏楽連盟、鹿児島県吹奏楽連盟、大分県吹奏楽連盟、沖縄県吹奏楽連盟、他

協力：日本フルート協会、一般社団法人日本クラリネット協会、日本ファゴット（バスーン）協会、日本オーボエ協会、日本サクソフォン協会、日本ホルン協会、日本トランペット協会、日本トロンボーン協会、日本ユーフォニアム・チューバ協会、日本打楽器協会、日本木琴協会、尚美ミュージックカレッジ専門学校

協賛：株式会社鴻池組、ヤマハ株式会社、株式会社ドルチェ楽器、株式会社こおろぎ社、ブレーン株式会社、株式会社フォトライフ、国立音楽院、東京ミューズ・アカデミー、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、他

入賞者記念演奏会の実施

名称：「第15回日本ジュニア管打楽器コンクール入賞者記念演奏会」

目的：本選考会で入賞した全コースのソロ部門とアンサンブル部門の中から記念演奏会を開催。

日時：2013年3月31日（日）13:00 開演

会場：文京シビックホール 小ホール（東京都文京区春日1-16-21）

入場料：1,000円

後援：文部科学省、東京都、文京区教育委員会、他

運営：運営委員長の石渡悠史氏（本公益財団理事）がソロ部門とアンサンブル部門（新規）における予選審査・本選審査を運営及び審査員へ指導などの統括を行った。

報告：受賞者一覧

文部科学大臣賞

小学生コース：金賞 渡邊 葵衣 習志野市立大久保小学校

中学生コース：金賞 河村 真歩 名古屋市立北中学校

高校生コース：金賞 寺島 海志 慶應義塾高等学校

ソロ部門

フルートの部

小学生コース 金賞 太田 怜花 世田谷区立桜町小学校

	銀賞	齋藤 華香	名古屋市立弥富小学校
	銅賞	小川 紗季	魚沼市立小出小学校
中学生コース	金賞	木村 ひかり	共愛学園中学校
	銀賞	村上 日奈子	遠軽町立遠軽中学校
	銅賞	梅田 一輝	習志野市立第二中学校
高校生コース	金賞	森川 明日香	桐朋女子高等学校音楽科 (男女共学)
	銀賞	中村 音舞	長野県小諸高等学校
	銅賞	河野 葉月	東京都立墨田川高等学校
ホルンの部			
小学生コース	金賞	宮城 ひかり	武蔵野市立第三小学校
中学生コース	金賞	石井 奨悟	郡山市立郡山第二中学校
	銀賞	宮崎 継夢	名古屋市立平針中学校
高校生コース	金賞	鈴木 一裕	習志野市立習志野高等学校
	銀賞	時田 佳奈	聖徳大学附属女子高等学校
	銀賞	河野 陽子	東京都立小平高等学校
トランペットの部			
小学生コース	金賞	伴 希美	那珂市立五台小学校
	銀賞	八木澤 玲碧	足立区立西伊興小学校
	銅賞	三好 佳那	松山市立石井東小学校
中学生コース	金賞	川本 若奈	長久手市立長久手中学校
	銀賞	森村 香子	調布市立第三中学校
	銅賞	高橋 美羽	名古屋市立汐路中学校
高校生コース	金賞	樋口 雅明	岡山県作陽高等学校
	銀賞	橋本 一津帆	大阪桐蔭高等学校
	銅賞	青木 美凡	宇都宮短期大学附属高等学校
サクソフォーンの部			
小学生コース	銀賞	金 姫娥	世田谷立千歳小学校
中学生コース	金賞	楠瀬 亮	香南市立野市中学校
	銀賞	小林 佳生	岡崎市立竜海中学校
	銅賞	濱田 海宏	大阪市立放出中学校
高校生コース	金賞	住谷 美帆	茨城県立水戸第三高等学校
	銀賞	嘉野 聡美	石川県立大聖寺高等学校
	銅賞	小松 秀介	東京都立片倉高等学校
ファゴットの部			
中学生コース	金賞	山田 哲朗	玉川学園中学部
高校生コース	金賞	寺島 海志	慶應義塾高等学校
	銀賞	木村 卓巳	桐朋女子高等学校音楽科 (男女共学)
	銅賞	浦田 拳一	京都市立京都堀川音楽高等学校
	銅賞	湯浅 敏博	千葉県立船橋芝山高等学校

トロンボーンの部

小学生コース	金賞	渡邊 葵衣	習志野市立大久保小学校
中学生コース	金賞	坂本 悠靖	玉川学園中学部
	銀賞	三谷 望	学校法人芝学園芝中学校
	銅賞	真壁 伽帆	紋別市立紋別中学校
高校生コース	金賞	伊藤 雄太	神奈川県立横浜南陵高等学校
	銀賞	高瀬 新太郎	埼玉栄高等学校
	銅賞	石橋 諒	習志野市立習志野高等学校

クラリネットの部

小学生コース	金賞	大塚 涼子	世田谷区立千歳小学校
	銀賞	本郷 寛幸	那覇市立さつき小学校
中学生コース	銀賞	三階 萌	船橋市立海神中学校
	銅賞	福井 喬文	大阪市立放出中学校
高校生コース	金賞	渋谷 友理	埼玉県立大宮光陵高等学校
	銀賞	島谷 万寿実	京都市立京都堀川音楽高等学校
	銅賞	塩野 奈々	北海道遠軽高等学校

オーボエの部

小学生コース	金賞	亀谷 梨乃	旭市立矢指小学校
中学生コース	金賞	河村 真歩	名古屋市立北中学校
	銀賞	小林 加奈	市川市立第七中学校
	銅賞	村松 和奈	鈴鹿市立平田野中学校
高校生コース	金賞	山田 涼子	茨城県立緑岡高等学校
	銀賞	小阪 怜佳	愛知県立瑞陵高等学校
	銅賞	伊庭 優希	聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校

テューバの部

中学生コース	金賞	岸野 駿平	作新学院中等部
高校生コース	金賞	吉澤 翔太	作新学院高等学校
	銀賞	池田 侑太	千葉県立津田沼高等学校
	銅賞	高野 葵	水戸葵陵高等学校

マリンバの部

小学生コース	金賞	佐土原 美音	小林市立小林小学校
	銀賞	村上 志乃	宇都宮市立陽光小学校
	銅賞	高橋 優鶴	作新学院小学部
中学生コース	金賞	深澤 花音	町田市立薬師中学校
	銀賞	柴本 朱音	宇都宮市立古里中学校
高校生コース	銀賞	亀尾 洸一	常盤木学園高等学校
	銀賞	佐々木 麻由穂	学校法人山崎学園富士見高等学校
	銅賞	吉田 開	埼玉県立川越高等学校

パーカッションの部

中学生コース	金賞	森山 拓哉	宝塚市立宝梅中学校
	銀賞	北條 歩夢	武蔵野市立第三中学校
	銅賞	斎藤 実	下條村立下條中学校
高校生コース	金賞	加藤 俊	早稲田大学高等学院
	銀賞	中村 倖大	埼玉栄高等学校
	銅賞	山本 美緒	京都市立京都堀川音楽高等学校

ユーフォニアムの部

小学生コース	金賞	川越 麻弓	世田谷区立千歳小学校
	銀賞	山野 七星	王寺町立王寺小学校
中学生コース	金賞	鈴木 真央	尼崎市立中央中学校
	銀賞	中井 愛梨	遠軽町立遠軽中学校
高校生コース	金賞	小原 春菜	埼玉県立蕨高等学校
	銀賞	加藤 萌	静岡県立浜松江之島高等学校
	銅賞	鮫島 雄大	大阪桐蔭高等学校

アンサンブル部門

打楽器の部

小学生コース	銀賞	マリンバンビーノ 打楽器五重奏
中学生コース	金賞	埼玉栄中学校 打楽器四重奏
	銀賞	紋別市立紋別中学校 打楽器三重奏
高校生コース	金賞	長野日本大学高等学校 打楽器六重奏
	銀賞	八千代松陰高等学校 打楽器八重奏
	銅賞	関西高等学校 打楽器四重奏

木管の部

中学生コース	金賞	会津若松市立一箕中学校 クラリネット八重奏
	銀賞	日立市立泉丘中学校 木管六重奏
	銀賞	茨城中学校 木管三重奏
高校生コース	金賞	長野県小諸高等学校 木管五重奏
	銀賞	アンサンブルウインド 木管五重奏
	銅賞	長野県小諸高等学校 フルート四重奏

金管の部

小学生コース	金賞	河合第三小学校金管バンド・モア 金管八重奏
中学生コース	金賞	板橋区立志村第五中学校 管打八重奏
	銀賞	岡崎市立北中学校 金管八重奏
高校生コース	金賞	埼玉県立松伏高等学校 金管八重奏
	銀賞	兵庫県立西宮高等学校 金管五重奏
	銅賞	東京都立杉並高等学校 金管九重奏

名 称：「第1回アーティスト発掘オーディション」

目 的：地域自治と音楽交流の場を確立するため生活の単位であるファミリー「家庭」と地域のコ

コミュニティを生かすためネットとコミュニティ社会の誕生が求められる。そのため全国各地の地方自治体会場、全国音楽大学の会場、音楽業界、楽器業界、ユーストリーム配信、全国38FM局中のネット並びにメディア関連の協力のもと、地域の特性を生かした自由な機構での運営を行い、音楽分野でのトランポリン政策に通ずる何らかの機会を提供し、広く地域自治と文化交流の役割を果たすよう新事業を展開する。

内 容：開催部門／クラシック部門・ポップス部門

参加資格／年齢不問

2人から10人以内の編成で、ボーカル・管弦打・シンセ・ギター・リコーダー問わない。自由な編成を求める。

演奏時間／8分以内とする。

演奏曲目／予選・本選考会とも規定分数以内の任意の楽曲とする

報 告：本年度開催を予定したが、この実施にあたり広く意見を求めるため、再度打ち合わせ会を開催した結果、開催内容等のさらなる検討が必要と判断をし、本事業において企画変更による廃止とした。その後、実施プランの検討に入る。

公益事業3 音楽に関する鑑賞機会を提供する事業

名 称：「第5回全日本市民バンドフェスティバル」（開催）

担当理事：尾上将己（本公益財団事務局長）

目 的：全国の音楽バンドの発展と地域における市民音楽バンド活動の一環として、地方音楽文化の普及と啓発に貢献することを目的とし、ここに「第5回全日本市民バンドフェスティバル」を開催し、演奏会・交流会を行う。

会 場：尚美ミュージックカレッジ専門学校 バリオホール

協 賛：ヤマハ株式会社、ブレーン株式会社、他

特別協力：尚美ミュージックカレッジ専門学校

内 容：2012年12月2日（日）

報 告：出演団体 計9団体

- | | |
|-----------------------|---------------|
| ・BB5 | ・Oz（オズ） |
| ・郁文館夢学園ブラスバンド部 | ・千葉県立市川南高等学校 |
| ・船橋市立海神中学校吹奏楽部 | ・千葉県市川市立第八中学校 |
| ・昭和学院中学校・高等学校 | ・千葉トレイルブレイザーズ |
| ・大江戸シンフォニックウィンドオーケストラ | |

名 称：「アジア国際交流音楽祭」

担当理事：大石修治（神奈川フィルハーモニー交響楽団専務理事）

公益財団法人の新しい事業の一つとして「アジア国際交流音楽祭」第1回（2014年）を横浜において開催のため準備委員会を設立。日本、アジア諸国より参加、総会、演奏会、シンポジウム、コンテスト、各国物産展など開催。後援協賛多数。

報 告：残念ながら計画・立案に要した年月が5年間にも及ぶ中、何ら進捗がない状況によることから本事業の撤退をした。

名 称：「国際音楽ソフトウェア流通協議会」

(略称：イムスタ International Music Software Trade Association)

担当理事：村井清二（株式会社エムアイセブンジャパン代表取締役）

目 的：違法コピーは蔓延しています。2008年のIMSTA委員会の設立から市場や消費者にメッセージを届け、継続的な教育啓蒙活動が主たる活動となります。

内 容：①イベントプロモーションを行う／店頭などで、リーフレットの配布などのプロモーションを行う。（特に土、日）店頭用ポスターなど、各メーカー製品デモンストレーション時に、カタログと一緒にリーフレットの配布。

②委員活動／継続してソフトウェア開発会社及びソフトウェア輸入代理店、小売店等への参加を呼びかけ。

③広報活動／媒体各社への無償告知の要請、無償パブリシティの協力要請、ミュージシャンへの取材およびWEBへの掲載。

④その他／ヤフーオークション他へのIMSTA委員会としての団体参加。

運営委員会開催予定：

- ・告知について 基本は電子メール、WEB ソーシャルメディア(FACEBOOK)を用いたバイラルマーケティング（口コミ）を主体とし、有料媒体は使用しない。
- ・FACEBOOK (<https://www.facebook.com/IMSTAJapan?fref=ts>)
- ・IMSTA ホームページ (<http://www.imsta.org/japan/myths.php>)
- ・各種展示会へのタイアップ
- ・各メーカー製品デモンストレーション時に、カタログと一緒にリーフレットの配布。
(楽器フェア・国際放送機器展・シンセフェスタ)